



オンラインイベントに出演する（左から）鈴木さん、酒井さん、増田さん

21日から東京で「ルームス43」 新聞レジ袋作製活動紹介

只見中生、オンラインで出演

生活・文化のブランドやアーティストが集結する「rooms（ルームス）43」は二十一日から二十三日まで、東京都の新宿住友ビル三角広場で開かれる。新聞レジ袋の作製を通じて環境保全に取り組む只見町の只見中とオンラインで結び、生徒代表が活動に込めた思いを来場者に伝える。ルームス43では福島民報社が「人と人、人と自然をつなぐ思い」をテーマにブースを設け、「第二回小中学生まちづくり大賞（ふくしまジュニアチャレンジ）」でグランプリに輝いた只見中、「ふくしま経済・産業・ものづくり賞（ふくしま産業賞）」を受けた三社・団体が出展する。只見中生はこの企画の一環でオンラインのトークショーに出演する。時間は二十一日午後一時から二時まで。鈴木音緒（ねお）さん

（三年）、酒井駿さん（三年）、増田司さん（二年）の三人が海のプラスチックを減らすと、新聞紙でレジ袋を作り、町内の商店などに納めている活動を紹介する。取材を通して生徒と交流を深めている福島民報社の生徒三人は「気候変動問題はみんなで取り組むべきものであり、トークショー出演を通じて活動の輪を広げたい」と意欲を見せている。

丹治隆南会津支局長も出演し、活動の評価を語る。